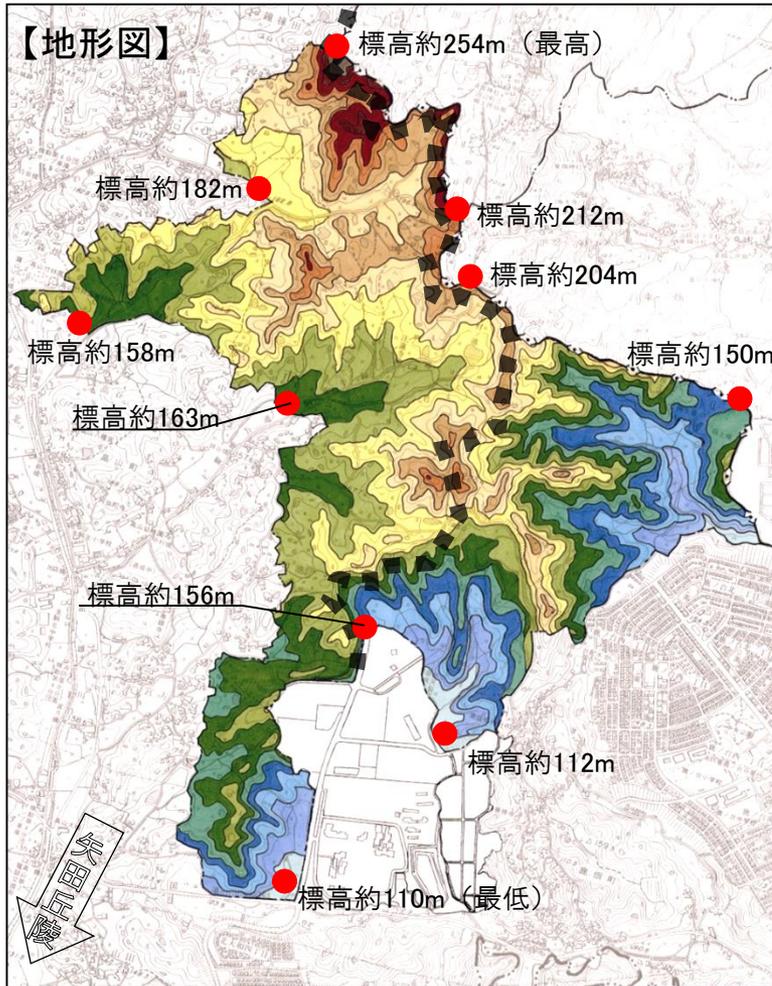


造成イメージについて

造成イメージについて

① 地形



出典：独立行政法人都市再生機構資料より作成

地形

現況について

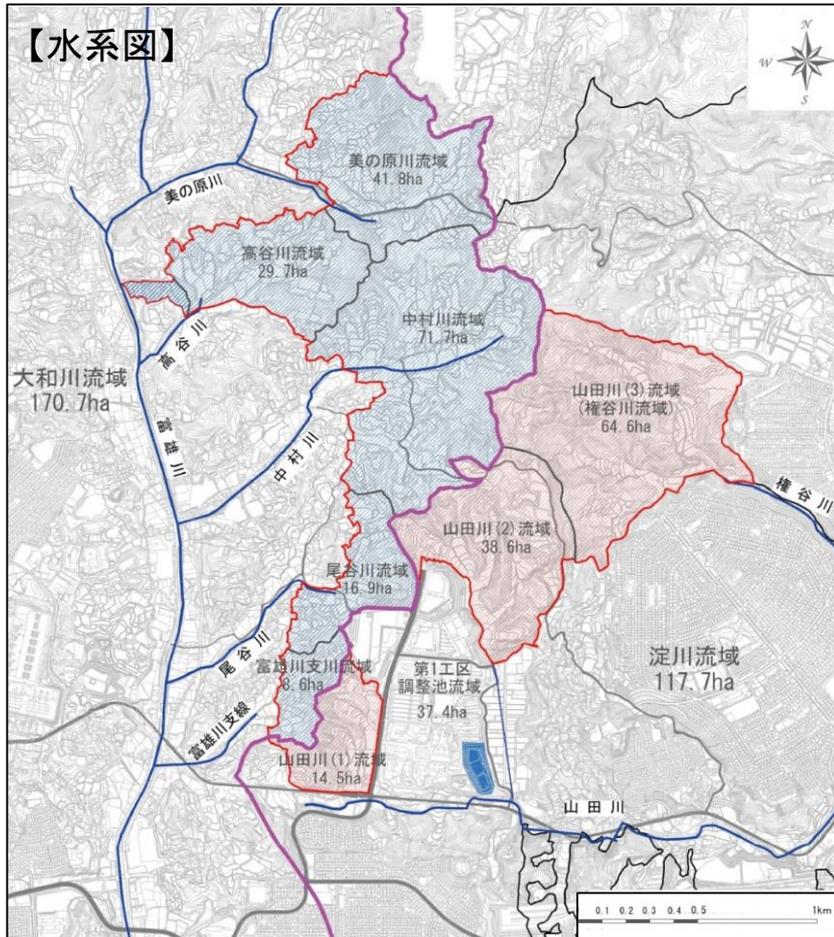
- ・本工区は矢田丘陵の北東側に位置し、北部から南部方向に緩やかに傾斜。
- ・本工区の中央部南北にかけて尾根筋が存在。
- ・本工区の南東側
⇒ 比較的深い谷筋を形成しており、鹿ノ台と隣接して地区境界の低地部(谷部)に住宅地利用等がみられる。

検討の際の留意点

- ・起伏が激しい土地の開発は、工事費がかかるため、**現況地形を活かした土地利用**を考える。

造成イメージについて

② 水系



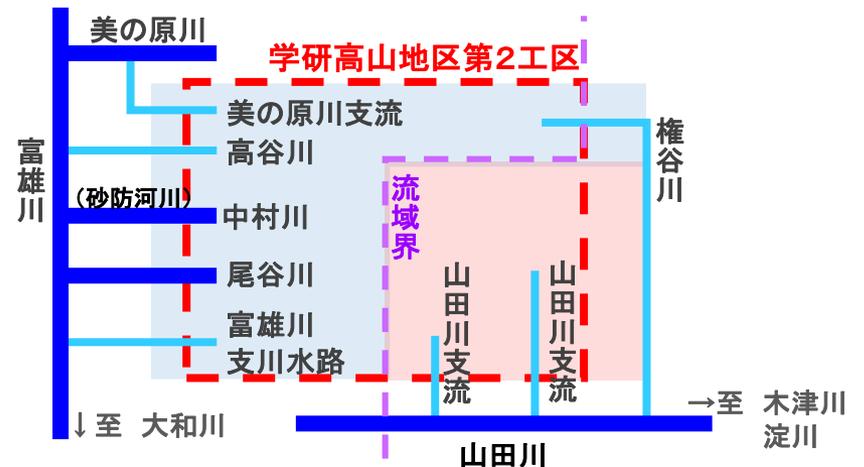
水系

現況について

- ・本工区は中央部を南北に伸びる尾根によって2つの流域に分かれている。
- ・西側(170.7ha)
⇒ 奈良県管理の一級河川富雄川流域
- ・東側(117.7ha)
⇒ 奈良県管理一級河川山田川流域
- ・富雄川流域
⇒ 美の原支流、高谷川、中村川、尾谷川、支川水路の5支川流域
(美の原川と中村川、尾谷川は一級河川)
- ・山田川流域
⇒ 権谷川、山田川支川の2支川流域

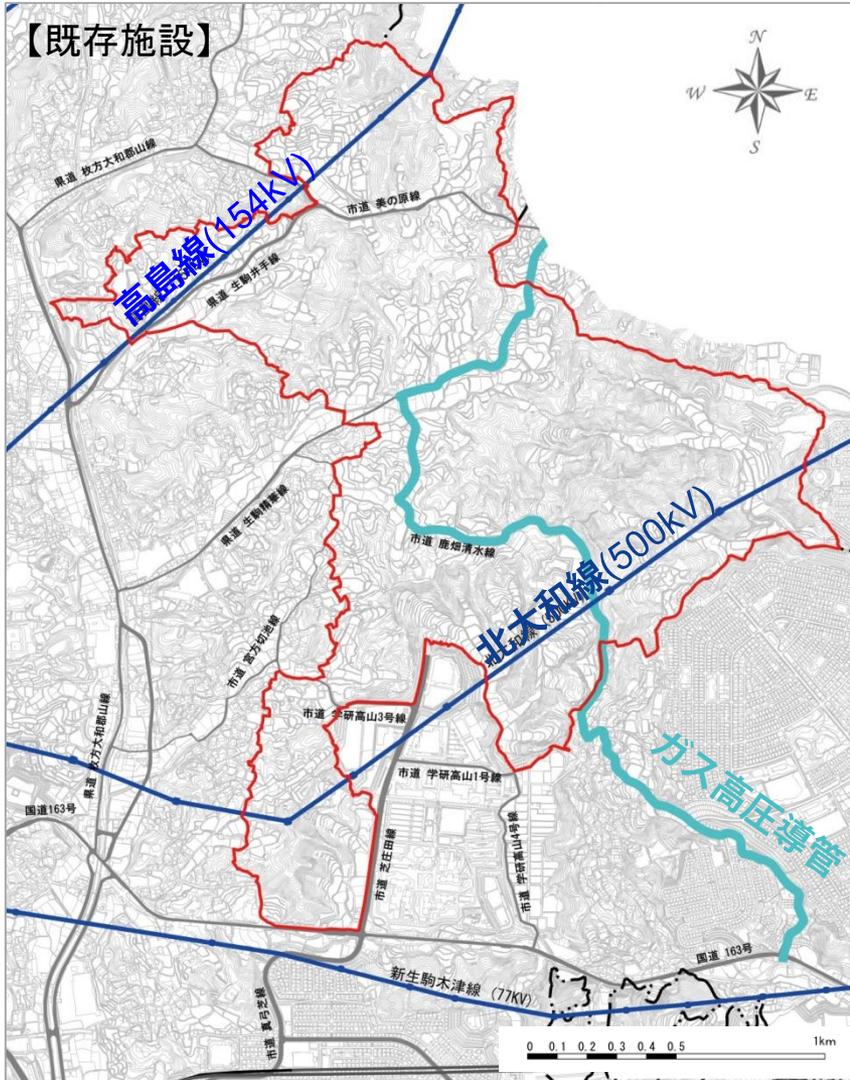
検討の際の留意点

- ・大雨等により、下流域で河川が氾濫しないよう、各河川における現在の流域を考慮した造成計画の検討が必要



造成イメージについて

③ 既存施設



出典：独立行政法人都市再生機構資料より作成

既存施設

高圧送電線及び鉄塔

北側⇒ 高島線(154kV)...特別高圧送電
南側⇒ 北大和線(500kV)...超高圧送電
本工区には北と南の2箇所を関電高圧送電線が架空で横断しており、土地利用上の制約条件となっている。

大阪ガス高圧導管

県道生駒精華線、市道鹿畑清水線道路敷内に、大阪ガス高圧導管(φ600)近畿幹線第1東部ラインが埋設されており、開発に当たっては、その機能を維持する必要がある。

現況について

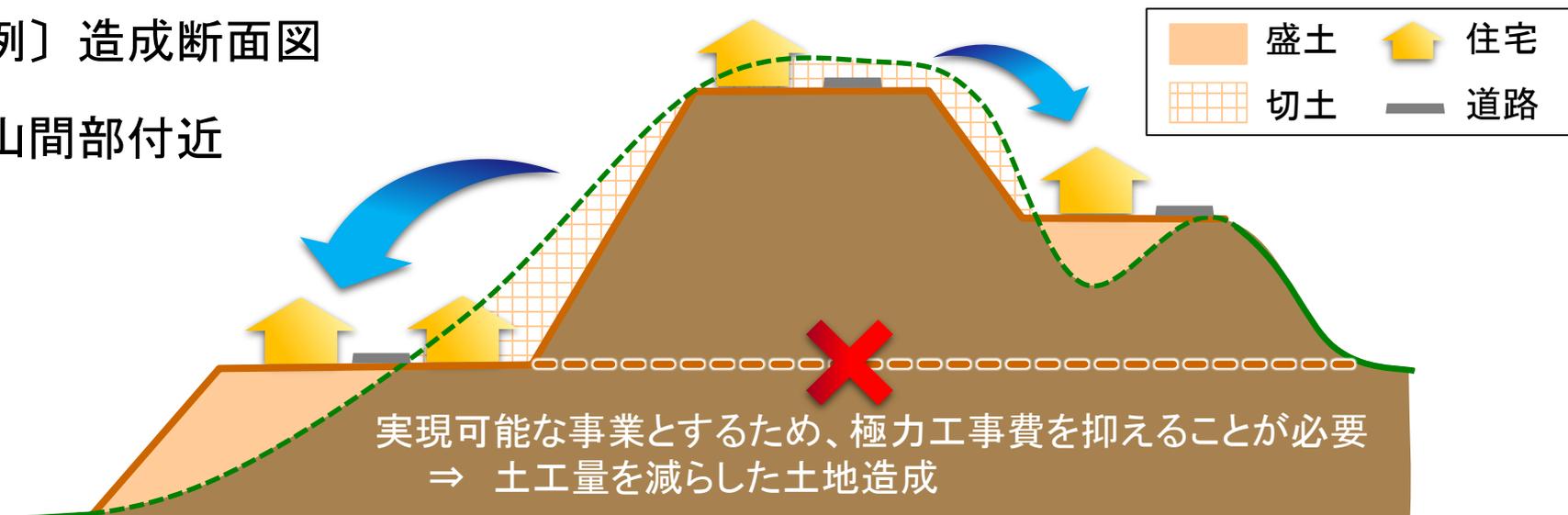
検討の際の留意点

- ・線下敷での建物の建設は禁止となっている。
- ・送電施設や大阪ガス高圧導管は**移設が困難**であり、**移設しなくても良い土地利用**を考える。

造成イメージについて

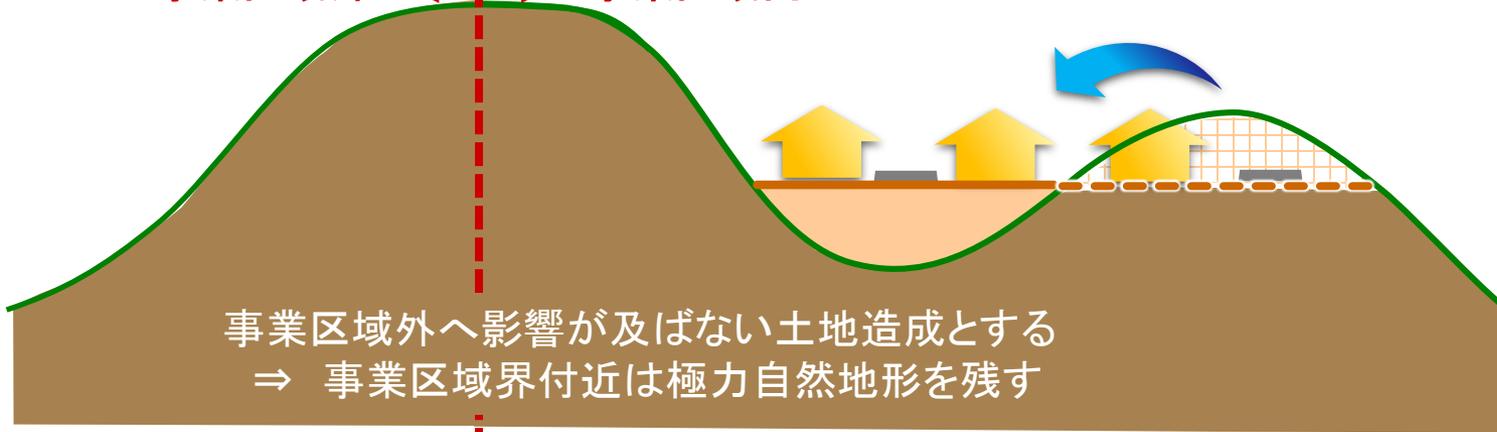
〔例〕 造成断面図

山間部付近



事業区域界付近

事業区域外 ← → 事業区域内



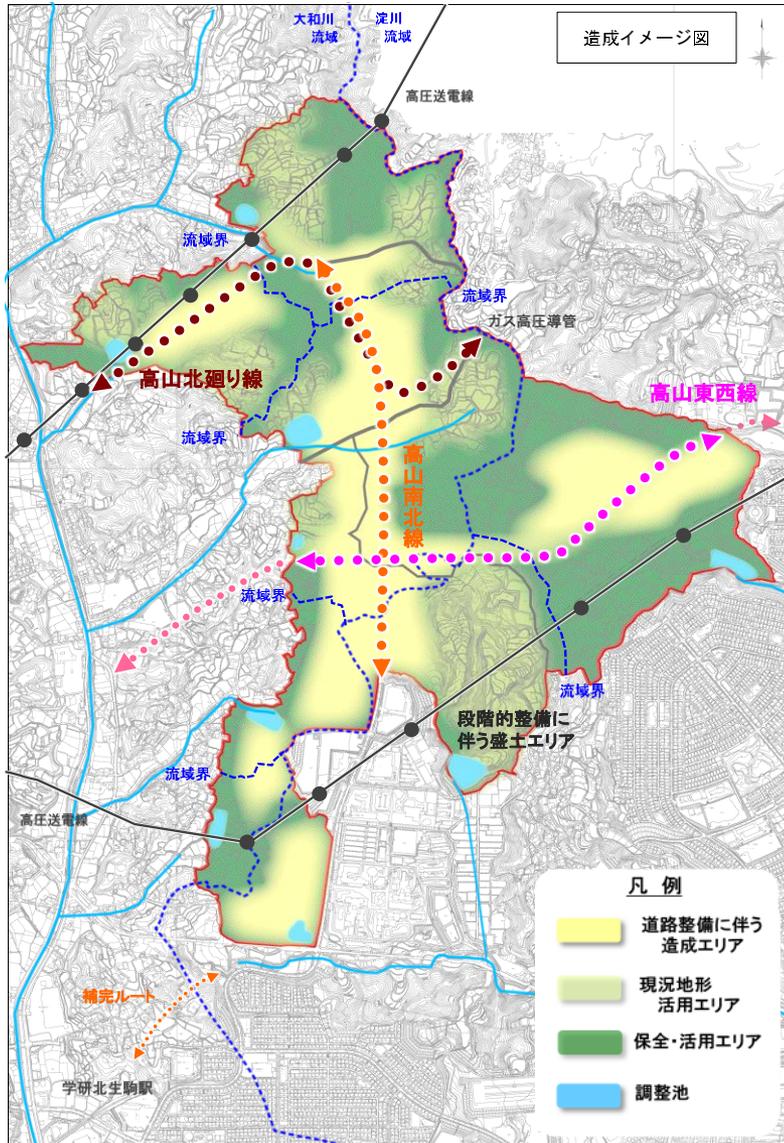
造成イメージについて

現況道路高



造成イメージについて

骨格道路整備を踏まえた土地造成イメージ



■各エリアのポイント

◆道路整備に伴う造成エリア

- 骨格道路の整備に伴ってつくられる土地を最大限確保し、土地利用を図るエリア

◆現況地形活用エリア

- 土工量（切土量、盛土量）を極力抑えるとともに、さほど起伏の激しくない現況地形を活かしつつ土地利用を図るエリア

※段階的整備に伴う盛土エリア

- 段階的整備に伴い順次、他のエリアからの残土を受け入れことにより整備され、土地利用を図るエリア

◆保全・活用エリア

- 起伏の激しい地形については現況のまま保全・活用を図るエリア